

日本共産党三田市議団
水元 サユミ 議員



子育て

病児・病後児保育事業の 拡充を

議員 委託先医療機関の事情により、令和4年9月末に病児・病後児保育事業の委託契約が終了し、現在、認可外保育施設と連携する定員1名の病児・病後児の受け入れ施設を参考として紹介するのみとなっている。子育て世代のために拡充が必要では。

将来的な拡充も念頭に取組を進めている

市 現在、実施場所を公共施設の中から選定するなど検討を進めている。子どもや保護者の安全・安心を第一義とし、利便性、持続可能性の確保をコンセプトとした事業の設計など、将来的な拡充も念頭に取組を進めている。(森市長)

他の質問 ●障害者・児への支援について
●市立幼稚園の再編統合について

新政みらい

北本 節代 議員



介護支援

家族介護者の相談体制と 支援策の充実を

議員 家族の介護負担が増大する中で、介護疲れや悩みなどの相談体制と、相談窓口に来られない方への支援を充実させるべきでは。

全圏域を地域包括支援センターとして支援する

市 各圏域に設置の支援センターにおいて、高齢者本人と家族の悩みや介護負担を解決するために必要な医療、介護、福祉サービス等の利用について相談支援をしている。また、電話や訪問による相談、情報交換や交流の場の開催にも取り組んでいる。令和5年度には全圏域を地域包括支援センター化し、体制や機能の充実、周知啓発に取り組む。(森市長)

他の質問 ●コロナ禍の児童・生徒への支援の取組について 他2件

無党派

井上 昭吾 議員



まちづくり

域学連携組織の設置で 「学びのまち」創出を

議員 豊富な教育機関との関わりという三田市のアドバンテージを最大限に生かし、地域課題を解決するアイデアや活動を大学等の教育機関と共創する「域学連携」を推進するための連携組織を設置するべきであると考えているが、市の考えを伺う。

積極的な情報発信で若者のまちづくりを推進

市 大学の授業や高校の探究学習などで地域課題に取り組む域学連携が本市でも着実に成果をあげている。今後は、若者のまちづくりの理念や学生・市・地域の役割をしっかりと位置付け、地域と一体となって推進する仕組みを作り上げたい。(森市長)

他の質問 ●不登校特例校の設置について
●英語教育強化事業について 他3件

日本維新の会三田

林 政徳 議員



スマートシティ

分野横断的なスマート シティの推進を

議員 さんだ里山スマートシティ構想の推進において分野別の取組があるが、課題解決に向けたピンチをチャンスに変えて成長する三田市を目指す上で、DXを活用した各分野の取組の集約、分野横断の促進と活用が大切になると考えるが、市の考えを伺う。

庁内全体で分野横断の視点で取組を推進する

市 各分野の取組結果がもたらす影響を分析し、他分野で活用できないかといった分野を横断する視点で、スマートシティ推進課を中心に庁内全体で、さらには官民共創で取組を推進する。(西田情報政策監・総合政策部長)

他の質問 ●市民病院におけるDXの推進について



*DX(デジタルトランスフォーメーション):デジタル技術による変革

新政みらい

厚地 弘行 議員



まちづくり

菊花展などを市民の 目につく場所で開催しては

議員 菊花展、さつきまつりを庁舎前などの目につく場所で展示し、広く市民に季節を味わってもらい関心を深めては。また、花と緑のまち三田を標榜した時期があったが、もう一度盛り上げていってはどうか。

花と緑のまちに向けプロジェクトチームで検討する

市 菊花展、さつきまつりについては、主催者の意向も伺いながら、より多くの方々に鑑賞していただけるよう、開催場所等を検討していく。また、市民団体への支援や人材育成、公民連携により「花と緑があふれるまち三田」のまちづくりを目指し、庁内でプロジェクトチームを立ち上げ検討を進める。(森市長・甲斐地域共創部長)

他の質問 ●職員の給与に連動した人事評価について 他2件



日本共産党三田市議団

木村 雅人 議員



市民病院

民意に大きく反する 基本構想の白紙撤回を

議員 3万3000筆の署名や、意見交換会、パブリックコメントでの現市民病院の存続を求める大半の意見が民意であり、市民の意見を積極的に取り入れるとした三田市まちづくり基本条例に反している。民意に大きく反する基本構想の白紙撤回を求める。

賛否の数ではなく、市民の命を守り抜く

市 基本構想の策定を通じて、市民の命を将来にわたって守り抜く覚悟のもと、救急医療を中心とする急性期医療は何としても将来にわたって堅持し、更に充実させなければならないと決意を新たにしており、白紙撤回の考えは一切ない。(濱田副市長)